

トルコギキョウの夏秋産地・暖地における適品種の選定

農業研究部・花きグループ

1. 研究の背景

トルコギキョウの市販品種は400種類以上あり、品種ごとに特性が異なるため、産地や作型に適した品種を栽培しないと高品質な切り花が得られず収量や販売単価に影響を与える。そこで今回は夏秋産地における9月開花作型、暖地における11月下旬～12月開花作型において適する品種を選定した。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

9月開花作型は切り花長が70cm以上、開花数3輪以上のものを基準に選定した。11月下旬～12月開花作型は切り花長が90cm以上、葉先枯れ等の生理障害の発生が少ないものを基準に選定した。9月開花作型から9品種、11月下旬～12月開花作型から3品種の適品種として選定した。

表1 9月開花作型における切り花形質
(2023年7月5日定植)

品種名	切り花長 (cm)	開花数	切り花重 (g)	評価
セレブ3型イエロー	78	2	43	
セレブ3型クリスタル	75	3	53	○
ラルゴマリン	79	3	38	◎
ウェディングキスVer.1	69	4	42	
スノーレディー	66	2	34	
ハビネスホワイト	68	3	36	
モアナライトピンク	69	3	30	
MEX2010	71	2	42	
MEX1054	55	2	22	
プロポーズ3型スノー	78	3	44	○
K528	79	3	50	◎
K529	70	4	57	○
K530	75	3	43	○
K534	57	3	37	
TU-1020	65	2	32	
TU-1021	71	3	42	○
TU-1022	61	3	37	
TU-1023	72	4	50	◎
TU-1024	72	3	27	○
コレゾライトピンク	72	4	34	対照区
セレブクリスタル	77	3	41	対照区

※9月13日から9月21日まで一斉収穫したため、収穫日の評価はできなかった。

表2 11月下旬～12月開花作型における切り花形質
(2023年8月31日定植)

品種名	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	莖径 (mm)	開花数	葉先枯れ発生株数		評価
					軽	甚	
K528	85	70	6.6	1.6	0	0	
K529	85	65	6.2	2.2	0	0	
K530	91	70	5.5	2.1	0	0	○
K534	70	47	5.0	1.5	13	2	
セレブ3型クリスタル	99	87	6.7	1.8	0	0	◎
セレブ3型イエロー	75	63	5.9	1.1	10	10	
ウェディングキスVer.2	90	71	6.3	2.0	0	0	○
プロポーズ3型スノー	79	61	6.1	1.4	2	1	
TU1020	76	59	6.4	1.2	0	0	
TU1021	70	53	5.4	1.3	0	0	
TU1022	72	54	5.4	1.4	3	1	
TU1023	75	58	5.4	1.2	12	0	
TU1024	88	62	5.2	1.7	6	2	
デアライトピンク	61	47	5.8	1.2	10	3	
ノアシルキーピンク	68	61	6.4	1.9	10	2	
M24-1	68	51	5.7	1.5	2	0	
MEX2001	75	47	5.7	1.3	0	0	
MEX2040	79	62	6.3	1.1	0	0	
ボレロホワイト	90	53	5.5	1.9	0	0	対照区
グラナスピンク	74	44	5.2	1.7	1	0	対照区

※12月19日から1月4日まで一斉収穫したため、収穫日の評価はできなかった。



9月開花作型の圃場の様子 9月開花 ラルゴマリン

3. 期待される効果

夏秋産地・暖地におけるトルコギキョウの栽培指導に資することができる。

4. 担当機関連絡先

大分県農林水産研究指導センター 農業研究部 花きグループ
TEL 0977-66-4706 FAX 0977-67-5218 住所 別府市大字鶴見710-1